

研究名：健常人ボランティアの血液を使用した iPS 細胞の樹立

1．研究の目的

現在、iPS 細胞による研究が各方面で活発になされています。細胞移植療法の適応となる疾患もしくは患者は、臓器移植を望んでいるがドナーが見つからない場合や、他の治療法の選択肢が無い場合が多く、細胞移植の治療に託された期待は大きいと考えます。

細胞移植は、自家細胞を用いることができれば、移植細胞からの感染症の心配が無く、また臓器移植のような移植後の免疫抑制剤の使用が必要ないといったメリットのある治療法であるが、逆の見方をすれば、他種もしくは他家の細胞を用いた移植の場合、感染症や拒絶反応等のリスクといった問題が存在する治療法でもあります。

そこで、本研究により、少量の自己血液による iPS 細胞の樹立方法が確立されれば、安全性・有効性の高いヒト幹細胞の培養が可能となります。現在の iPS 細胞が抱える課題のいくつかをクリアすることができ、より安全で有効性の高い研究が可能となり、本研究が iPS 細胞の内包する安全性・有効性の向上に大きく貢献すると確信します。

2．研究の方法

本研究の担当者との面会をしていただきます。同意いただけた場合は、ファインタッチをお渡ししますのでその場で血液を採取させていただきます。

血液は匿名化いたしまして個人の識別は出来ないようにいたします。

3．実施場所

国立成育医療研究センター研究所 再生医療センター

本研究にご参加いただける方は、下記連絡先にお問い合わせください。

川上妙子（本研究の説明担当）: kawakami-t@ncchd.go.jp

本研究にご参加いただきましても謝礼はございません。